

アンコ文化保存会 便り Vol.4

発行 アンコ文化保存会
代表 立島夕規乃
TEL04992 - 2 - 7317
清水 TEL2 - 1111



アンコ文化について 一緒に勉強しませんか？



2017年1月発行

アンコ文化保存会では アンコ風俗の発信と勉強会をおこなっています

昨年（H28）は、勉強交流会開催、竹芝栈橋で開催された2016島じまん、1月、6月の自転車競技大会などに参加し、アンコ文化を発信してきました。

アンコさんは大島の観光を支える風俗として残っていますが、古き良き時代のソーメン絞りを残すと共に、時代に合った手拭いを被り、島の生活のどこかでこのアンコ姿を見られるようにとの願いを込めて活動しています。

会では後世に伝えていくために、着物や前だれ、半てんを探しています。処分を考えていらっしゃる方は是非お声掛けください。



「アンコ」パワーで 大島の産業に貢献！

水汲み、薪運び、お茶屋さん… アンコさんが大活躍

大島の女性は江戸への年貢塩や薪の積込み運搬などよく働きました。昭和の初めになると三原山登山道に茶屋が立ち並び、アンコたちが大島節を唄ったり踊りを披露して多くの観光客をおもてなしし、観光ブームを起こしました。



◆手拭い販売中

藍染めの筋が、人びとが集まる時に振る舞っていたソーメンに似ているところから、ソーメン絞りと呼ばれたといえます。豊漁と、水に苦勞しないようにとの願いが込められています。会ではこの柄の手拭いを制作販売しています。



アンコ文化保存会制作手拭い
濃紺に魚と水流、蝶などの模様が描かれたソーメン絞り風手拭いです。

1枚 1000円(税込)

「東京の島 伊豆大島アンコ風俗」 制作中！！



アンコ文化保存会では地域の皆様からいただいた貴重な写真、エピソードを、1冊の本にまとめています。大島の時代背景と貴重な宝が詰まっています。ぜひ皆様の手元において、アンコの歴史を見つめなおしてみませんか？